

今回のおすすめメニュー



わたしの感覚、あなたの感覚

No

Image

『感覚過敏の僕が感じる世界』

加藤 路瑛 || 著

出版者：日本実業出版社

所蔵館：中央館・勝連館

請求記号：493.9カ

ちょっとあじみ

あなたは「^{かんかくかびん}感覚過敏」という言葉をきいたことはありますか？

感覚過敏とは、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚などの感覚が過敏になり、日常生活に困難をかかえている症状のことです。

では実際、どのような症状があるのでしょうか？

たとえば学校の日。制服の重さや肌ざわりが辛い。ノートの白さや窓からの光がまぶしい。弁当や給食のニオイで気持ち悪くなってしまう。

たとえばお休みの日。映画を観ても強い音と光で頭痛がする。買い物に出かけるとショッピングセンターのにぎやかさが辛い。

などなど症状は人それぞれですが、このような困難をかかえています。

でも感覚は目に見えず他の人と比べられないから、家族や友だちなどの身近な人にも理解されづらいのです。

この本が、そんな感覚過敏のことを知り、理解を深めるきっかけになりますように。

サイドメニュー

『カビンくんとドンマちゃん』

加藤 路瑛 || 著

黒川 駿哉 || 監修

出版者：ワニブックス

所蔵館：石川館

請求記号：493.9カ

No

Image

感覚過敏のほかに、
感覚^{どんま}鈍麻
の人もいます。